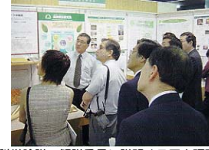


- [科学論説・解説委員の方々がつくりサーチャラリー等を視察](#)
- [森林総合研究所研究報告Vol.2-No.1 \(通巻386号\)](#)
- [Vol.2-No.2 \(通巻387号\) 刊行](#)
- [平成14年度研究成果選集刊行](#)

○ **科学論説・解説委員の方々がつくりサーチャラリー等を視察**

日本を代表する新聞やテレビの科学論説・解説委員の方々が農林水産技術会議事務局の招きで6月18日(水) つくりサーチャラリー等を視察されました。つくりサーチャラリーの森林総合研究所のブースでは田中理事が平成14年度の研究成果の中からいくつかのトピックを説明し、質問に答えていました。ブースでの時間は短かったのですが森林総研という研究組織がどのような研究を行っているか概略理解しただけではないかと思えます。



科学論説・解説委員に説明する田中理事長  
(つくりサーチャラリー・森林総研ブース)

○ **森林総合研究所研究報告Vol.2-No.1 (通巻386号) 刊行 (2003年3月発行)**

**総説**

- 森林組合における森林情報整備と間伐計画への応用  
近藤洋史

**論文**

- 関東育種基本区から選抜されたスギ精英樹クローンの材質  
平川泰彦・藤澤義武・中田了五・山下香葉
- カリマンタンにおける二次植物群落の高さの成長：植林によるCOP7の吸収源CDIM（グリーン開発メカニズム）事業の適地（英文）  
清野嘉之・HASTANIAH・宮國淳
- 多摩森林科学園の土壌動物に関する研究  
1. ササラダニ類  
新島深子・水谷吉勝

**短報**

- 衛星写真を利用した東北森林管理局管内図の作成  
栗屋善雄・新林昭一

**研究資料**

- 関東育種基本区から選抜されたスギ精英樹クローンの材質に関する解析資料  
平川泰彦・藤澤義武・了五・山下香葉



表紙：Vol.2-No.1  
(通巻386号)

○ **森林総合研究所研究報告Vol.2-No.2 (通巻387号) 刊行 (2003年6月発行)**

**論文**

- 殺線虫剤の根元注入によりマツ材線虫病から回復したクロマツ樹幹でみられた病徴進展  
松浦邦昭
- レッドアルダー (*Alnus rubra* Bong) 種子表皮物質由来フラボンの単離・構造決定（英文）  
堀 藤徳・TOWERS, G.H.Neil
- セメント・ストランド・スラブにおける木材とセメントの界面の微細構造およびセメント成分の分布（英文）  
藤井智之・宮武 敦

**短報**

- 製材工場における木質残廃材の発生と利用  
伊神裕司・村田光司

**研究資料**

- 京都府南部地方における広葉樹二次林の地上部現存量及び純生産量  
後藤義明・小南裕志・深山貴文・玉井幸治・金澤洋一



表紙：Vol.2-No.2  
(通巻387号)

○ **平成14年度研究成果選集刊行**

<目次>

**A 森林における生物多様性の保全に関する研究**

- ・シカの個体数管理から森林生態系管理へ
- ・樹木の種子生産戦略  
- かしこい子孫の残し方 -
- ・小笠原におけるアカギの推移行列モデルによる森林管理

**I 森林の国土保全、水資源かん養、生活環境保全機能の高度発揮に関する研究**

- ・土壌侵食危険度マップの作成と緑化の処方箋  
- 三宅島火山災害地の森林復旧に挑む (I) -
- ・郷土種を使って島に緑を取りもどす  
- 三宅島火山災害地の森林復旧に挑む (II) -
- ・森にふくむ風の渦構造をコンピュータシミュレーションでとらえる

**U 森林に対する生物被害、気象災害等の回避・防除技術に関する研究**

- ・ナラ類の集団枯損を引き起こす病原菌とそのベクター
- ・病原力の弱いマツノザイセンチュウの特徴を知る  
- 媒介昆虫への乗り移り行動について -

**工 多様な公益的機能の総合発揮に関する研究**

- ・地域の森林を地域共同・住民参加型で管理・利用する
- ・育林活動の衰退要因をさぐる

**オ 地球環境変動下における森林の保全・再生に関する研究**

- ・インドネシア森林火災による森林環境の変化と菌類や昆虫への影響
- ・食物連鎖を通して野生動物に蓄積される環境ホルモン（ダイオキシン）
- ・地球規模森林環境観測のための衛星データ雑音成分の除去法

**カ 効率的生産システムの構築に関する研究**

- ・ブレーキ付き刈払機の開発
- ・カメラとレーザーポインターを使って木の位置を測る

**キ 森林の新たな利用を推進し、山村振興に資する研究**

- ・野ネズミにとってトングリは本当に良い餌か？
- ・里山ブナ林の景観にみる地域住民と都市住民の意識の違い
- ・スギのアレルゲン遺伝子の単離とその利用
- ・輸入乾・生シイタケの系統判別

**ク 循環型社会の構築に向けた木質資源の利用に関する研究**

- (木質資源の環境調和・循環利用技術の開発に関する研究)
- ・水の汚染物質であるアンモニアを天然多糖類高分子キトサン膜で除去する
- ・木質系廃棄物を徹底的に分解して有用化学原料を調製する
- ・超臨界二酸化炭素処理による木材の浸透性改善

**ケ 循環型社会の構築に向けた木質資源の利用に関する研究**

- (安全・快適性の向上を目指した木質材料の加工・利用技術の開発に関する研究)
- ・近世江戸の木材利用史
- ・丸木の段階で製材品の強度を推定する

**コ 生物機能の解明と新素材の開発に向けた研究**

- ・樹木は外界の情報をどのように受け取るか？
- ・きのこの新たな形質転換系開発のため、動く遺伝子をマツタケから発見した
- ・環境修復の実用化に向けて担子菌をダイオキシン類の分解に使う

**サ 森林・林業・木材産業政策の企画立案に資する研究**

- ・世界林産物需給モデルによる資源影響評価

**シ 基礎基盤等研究、調査・観測**

- ・熱帯降雨林における生物多様性の高さ  
- カミキリムシ -



平成14年度研究成果選集